

■地区復興まちづくり計画（素案）内覧会等の報告

（1）内覧会の概況

- ・日 時：1月14日～17日
- ・場 所：宮古市公害試験場
- ・来場者数：38名

●会場の様子



（2）内覧会での意見等

■検討会の進め方について

1	<p>・高齢者を親戚の家へお願いしている事もあり、何年も計画案決定まで待てず、新築の計画をしています。従前住宅は解体しており、土地の買収を考えて頂ければと思っておりましたが、そうもいかないとの事ですので、他地区を考えておるところです。まちづくり検討会の皆様には、大変な思いをされてお考え頂き、とりまとめ頂いております事に感謝を申し上げますが、町内の方々の今後の生活の為、宜しくお願い申し上げます。（内覧会）</p>
---	---

■避難施設、防災無線等について

1	<ul style="list-style-type: none"> ・町内より高台までの避難路の登り口が悪く困難のため整備をお願いしたい。又、ソーラー式の街灯取り付けしてほしい。 ・神社より避難所（藤小の講堂入口まで）が砂利道で暗いので街灯取り付けしてほしい。 ・高台に町内の集会所（避難所）の整備 ・磯鶏石崎より河口まで盛土して河口橋渡り光岸地までのバイパス的な道路が出来るのが夢です。 ・閉伊川の土砂の浚渫をお願いしたい。（便り）
2	<ul style="list-style-type: none"> ・防災ビルを新築する場合には現4分団の敷地が、町内ではやや真中に近く、一階は消防出所、2,3階は逃避住民用、もし4階建てであれば、4階は暖房器具、緊急食糧、毛布、水などの防災用品置場にする。（医薬品等） ・歩道橋に電装の警報を取り付ける。（太陽光利用） ・各自治会、町内会ごとに複数のリヤカーを配置する。 ・各自治会、町内会ごとに、複数のハンドマイクを常備する。（内覧会）
3	<p>比古神社の擁壁にひびが入っていて危険。（内覧会）</p>

■防潮堤、河川堤防について

1	・水門反対。閉伊川両護岸の嵩上げと補強を望む。	(内覧会)
2	・山田線と岩手缶詰工場の間に住んでいます。震災では泥流により、1,3mの浸水被害を受けました。泥流の侵入路は閉伊川からです。鉄橋から岩手缶詰工場の前堤防は、小山田地区と比べて非常に低くなっており欠陥工事と言わざるを得ません。時々大雨の際にも浸水があります。今回、息子が県に堤防の改築を申し出たところ、「河川工事は宮古市に相談なさい」ということで宮古市の建設課に申し出たところ「河川工事は県に言いなさい」とお互いに相手にしようと思わず、たらい廻しにされました。知っていながら、お互いに見ぬふりをし、改善する姿勢はみられません。検討会では対岸の（宮古市街地側）の堤防を嵩上げが計画されているようですが、藤原地区は眼中にないのでしょうか。対岸の堤防が高くなればはねかえった波が、藤原上町を直撃し、今回以上の被害を受けることになります。避難所となる藤原小学校もありますので藤原上町地区の堤防改善についての検討をお願いします。	(便り)
3	・下伊川水門について、津波をブロックした場合の返し波や浸水地域のシミュレーションを確実に行うこと。 ・閉伊川防波堤の補強強化。	(内覧会)
4	藤原埠頭（港湾整備）で津波被害の形態が変化している。	(内覧会)

■港湾の活用について

1	・今回の震災では、私の家も被害を受け、多くの自衛隊の方々に大変お世話になりました。是非、この機会に宮古港に海上自衛隊の物資の補給や隊員の休養施設を誘致して港の活性化させて頂きたいと思います。他の市町村が名乗り出る前にいち早く誘致宣言をして積極的に推進してほしいです。来年の7月に復興イベントでカッター大会を開催すると聞きました。是非、海上自衛隊の艦艇広報をその時期に合わせて来ていただき隊員の方々の親善カッター大会を開催して市民みんなで隊員の皆さんに感謝の気持ちを伝えたいと思います。何卒宜しくお願いします。	(便り)
---	--	------

■埠頭の防災対策について

1	・藤原埠頭の木材の流出防止策を明記してもらいたい。	(内覧会)
---	---------------------------	-------

■道路整備について

1	・国道45号の新たなルートに反対	(内覧会)
---	------------------	-------

■住宅再建について

1	・防潮堤沿いで借地に建てた家が壊れてしまった。住む場所が不安。できれば住み続けたい。	(内覧会)
---	--	-------